



古川ぶんと
ソフィア整骨院 院長

坐骨神経痛の真実

今号の相談は「整形外科で椎間板ヘルニアによる坐骨神経痛と診断された」(60代男性)というもの。さっそく、ソフィア整骨院の古川ぶんと先生に聞いてみた。

Q

長年にわたってトラックの運転手をしているのですが、最近は下半身が痛くて歩くのにも苦労するようになりました。整形外科を受診したところ、椎間板ヘルニアによる坐骨神経痛と診断され、鎮痛薬などを処方してもらったのですが、いっこうに快方に向かいません。これはどういう症状なのでしょう。

A

坐骨神経痛は一般的に臀部から下肢にかけての痛みやしびれの症状とされており、症状が悪化するとジツとしていても激しい痛みやしびれが生じ、歩行すらままならなくなる場合があります。整形外科を受診されたそうですが、整形外科ではレントゲンやMRIによる画像診断によって、若い人の場合は椎間板ヘルニア、高齢者の場合は脊髄管狭窄症などと診断されがちです。しかし、ヘルニアや脊髄管狭窄症といった構造的異常が痛みやしびれの原因になることはなく、実際には筋肉のけいれんが原因であると確信しています。

Q

では、下半身のどのあたりの筋肉がけいれんしているのでしょうか。

A

人によって異なりますが、症状がひどい場合ですと、腰や骨盤から太もも、ふくらはぎにかけて、広範囲にわたり複数の筋肉がけいれんしているケースもあります。そういった場合、骨盤などの中枢の筋肉から末梢のふくらはぎの筋肉にかけて、段階を踏んで徐々に施術していくことになります。また、相談者のケースではトラックを運転していることから、アクセルやブレーキのペダ

ル操作で負荷のかかりやすい右脚全体が強くこわばっている可能性もあります。

Q

治療にはどれくらい期間を要するのでしょうか。個人差はありますが、症状がひどい場合でも、週

A

に数回の施術を1カ月から3カ月ほどつづけると効果を実感できると思います。なかには10回ほどの施術で30年来の症状が急速に改善した方もいました。坐骨神経痛にかぎったことではありませんが、筋肉の痛みが慢性化すると症状がエスカレートして治療に時間を要することになります。痛みが長くつづき症状が悪化する兆しを感じたら、はやめに筋肉治療の専門院に通って治療をはじめてください。

「痛みの診断・治療Ⅱ整形外科」と思われがちですが、整形外科医は筋肉性の痛みに関して無知なことが多く、とくに坐骨神経痛に対する診断・治療は的外れであることがほとんどです。坐骨神経痛が治らなくてお困りの方は、「痛みの原因はレントゲンに映らない筋肉の異常」であることを忘れないでほしいと思います。

「ふるかわぶんと」 1973年生まれ。大学卒業後、柔道整復師の国家資格を取得。厳しい研修生活の後、複数の整骨院で分院長を経験。2006年12月に、痛み専門・筋肉治療専門の「ソフィア整骨院」を開院。



【問い合わせ】

ソフィア整骨院

●〒166-0012 東京都杉並区和田3-58-9

パークサイド東高円寺1F

☎03-3314-1276 <http://sophia-seikotsuin.com>

イラスト: 丸子日記